

## 平成29年度取組状況及び平成30年度事業計画について

項目	具体策	29年度事業計画 重点取組事項	平成29年度 取組状況 (H30.3末時点)	29年度 内部評価	平成30年度事業計画 重点取組事項
<b>I 府内全域の図書館をつなぎ、支援するとともに、協力して図書館サービスを展開します</b>					
1 府内の各図書館とのネットワークの強化	(1) 総合目録ネットワークシステム(K-Libnet)の確実な運用と加盟機関の拡大		◆ 総合目録ネットワークシステムの充実《継続》 ▷ 検索システムに連携している大学図書館を追加(4大学) ▷ 学校支援セット貸出の申込みの追加(府立学校49校) ◆ 総合目録ネットワークシステムの加盟機関《拡充》 ▷ 30機関→83機関 ▷ 府立学校49校・大学4校が加入 ◆ 大学との相互貸借《拡充》 ▷ 京都教育大学(4月～)、福知山公立大学(6月～)、 佛光大学(9月～)、京都府立医科大学(2月～) 試行等実施 ◆ 総合目録ネットワークシステムの充実を図るための国立国会図書館、同志社大学、筑波大学、千葉大学、カーリル社との産官学プロジェクト《継続》 ▷ 機械的に突合できないものについてクラウドソーシングを実施(29.2.14～) ◆ 相互貸借のための連絡協力車を週2回巡回《拡充》 ▷ 巡回回数 ⑳ 240回→㉑ 376回 ▷ 搬送冊数 ㉒ 36,711冊→㉓ 55,384冊 ◆ 市町村立図書館等への職員巡回《拡充》 ▷ 訪問人数:㉔ 1人→㉕ 3人 ▷ 訪問時間:㉖ 約30分→㉗ 約50分 ▷ 年間4回・5コース	5	◆ 総合目録ネットワークシステムの充実《継続》 ▷ 検索システムに連携する大学図書館及び国会図書館関西館を追加 ◆ 総合目録ネットワークシステムの加盟機関《拡充》 ▷ 83機関→87機関 ◆ 大学との相互貸借《拡充》 ▷ 大学4校と協議(京都府立大学・京都工芸繊維大学等) ◆ 総合目録ネットワークシステムの充実を図るための国立国会図書館、同志社大学、筑波大学、千葉大学、カーリル社との産官学プロジェクト《継続》 ▷ クラウドソーシングで突合したもののうち、約500冊について現物の書籍等と突合(6月～) ◆ 相互貸借のための連絡協力車を週2回巡回《継続》 ◆ 市町村立図書館等への職員巡回《継続》 ▷ 年間4回・5コース・2～3人
	(2) 府内各大学との相互貸借の促進	○大学と連携して相互貸借の利便性を高め、より効率的に資料を府内全域で共有<2大学図書館⇒7大学図書館に拡大>			
	(3) 共同研究等を通じたシステム改善と利便性の向上	○産官学連携による書誌情報研究プロジェクトを推進し、「京都府図書館総合目録」の検索精度の向上を目指して継続的に実施			
	(4) 府内の図書館との物流改善	○相互貸借のための連絡協力車の市町村巡回を週2回に倍増			
	(5) 職員の府内各機関巡回の維持・拡充	○市町村立図書館等への職員巡回の人数を拡充 <訪問人数:1人⇒3人に増員>			
2 市町村立図書館等への支援	(6) 市町村立図書館支援のための資料の充実		◆ 市町村立図書館等支援のための資料の充実《継続》 ▷ 資料収集方針に基づいた資料の購入(㉘ 6,825冊) ▷ 市町村立図書館等からのリクエスト受付件数(㉙ 344件) ▷ 貸出文庫の貸出期間の緩和と書類等の簡素化 ◆ 図書館運営にかかる情報の収集と提供《継続》 ▷ 市町村立図書館等の職員巡回(年間4回・5コース・3人) ▷ 年度当初に市町村立図書館長会議を開催 ◆ 市町村立図書館職員等の研修《継続》 ▷ 年間7回研修を実施 ◆ 市町村立図書館等のレファレンス機能の支援《継続》 ▷ レファレンス研修(初級・中級)の実施 ▷ K-Libnetを活用した市町村立図書館等からの相談に対応(レファレンス件数:㉚ 488件) ◆ 京都府府民力推進課と共同で実施する「プラットフォーム事業」を市町村立図書館で実施 ▷ シラベルin滋野学区(H29.7.9 京都市右京中央図書館) ▷ 亀岡探検隊～ほんの世界から飛び出しちゃえ!～(シラベル子ども版in亀岡)(H29.7.26 亀岡市立中央図書館) ▷ シラベルin城陽(H30.1.25 城陽市立図書館)	5	◆ 市町村立図書館等支援のための資料の充実《継続》 ▷ 資料収集方針に基づいた資料の購入 ▷ 市町村立図書館等からのリクエストによる資料の購入 ▷ パッケージ化した展示資料の貸出《新規》 ◆ 図書館運営にかかる情報の収集と提供《継続》 ▷ 市町村立図書館等の職員巡回(年間4回・5コース・2～3人) ▷ 年度当初に市町村立図書館長会議を開催 ◆ 市町村立図書館職員等の研修《継続》 ▷ 年間8回程度研修を実施 ▷ うち市町村立図書館等の要請に応じた出前研修を試行的に実施(年間3回程度)《新規》 ◆ 市町村立図書館等のレファレンス機能の支援《継続》 ▷ K-Libnetを活用した市町村立図書館等からの相談に対応
	(7) 図書館運営にかかる情報の積極的な収集と提供	○図書館運営に関する情報の積極的な収集と提供を展開 <訪問人数:1人⇒3人に増員>			
	(8) 市町村立図書館職員等へのより充実した研修の実施				
	(9) 市町村立図書館のレファレンス機能充実への支援強化				
	(10) 各機関で協働した展示・イベントの開催				
3 学校支援の充実	(11) 児童・生徒の調べ学習や学生の調査研究の積極的な受け入れ		◆ 調べ学習や調査研究の受け入れ《拡充》 ▷ 小・中・高・専門学校・大学の児童生徒・学生の調べ学習の受け入れ(㉛ 小中学生3回95人、高校生4回145人、専門学校生1回64人、大学生3回44人) ▷ 同志社大学や府立大学の学生による蔵書に関する調査研究を受け入れ《新規》 ▷ 京都教育大学の学生による教科書の調査研究を受け入れるとともに研究成果を風除室で展示 ◆ 学校図書館運営のための支援《拡充》 ▷ 府立学校については 総合目録ネットワークシステムに加入することにより資料の申込みが簡素化《新規》 ▷ 貸出文庫の貸出対象を府立学校に拡大《新規》 ▷ 総合教育センター主催の「図書館教育講座」に協力 ◆ 学校支援セット貸出資料の充実《継続》 ▷ 市町村立図書館等への学校支援セット(小中学校版)の貸出セット数を拡充 ▷ 総合目録ネットワークシステムに学校支援セット貸出の申込みを追加《新規》 ◆ 特別支援学校への支援の充実《継続》 ▷ 見えにくい方を対象とした「拡大読書器やルーペの使い方講座」、個別相談会を実施《新規》(H29.8.5 参加者11名)	4	◆ 調べ学習や調査研究の受け入れ《継続》 ▷ 小・中・高・専門学校・大学の児童生徒・学生の調べ学習の受け入れ ▷ 京都教育大学の学生による教科書の調査研究を受け入れるとともに研究成果を風除室で展示 ◆ 学校図書館運営のための支援《継続》 ▷ 総合教育センター主催の「図書館教育講座」への協力 ◆ 学校支援セット貸出資料の充実《継続》 ▷ 小・中・学校教育研究会図書館教育部会、府立高校図書館司書部会と連携を図った学校支援セットの充実《新規》 ◆ 特別支援学校への支援の充実《継続》 ▷ 特別支援学校長会と連携した資料の充実を検討
	(12) 学校図書館運営のための支援の充実				
	(13) 学校支援セット等の資料の充実と提供方法等の改善				
	(14) 特別支援学校への資料や情報提供などの支援強化	○見えにくい方を対象とした「拡大読書器やルーペの使い方講座」や個別相談会を開催			
4 子ども読書活動の支援	(15) 児童サービス等に関する情報の集積と発信		◆ 子ども読書本のしおりコンテストの実施《継続》 ▷ 応募数の増加(㉜ 8,718件→㉝ 9,696件) ▷ 市町村立図書館等での巡回展示(㉞ 30施設→㉟ 33施設)	4	◆ 子ども読書本のしおりコンテストの実施《継続》 ▷ 応募数の増加(10,000件) ▷ 市町村立図書館等での巡回展示(33施設) ◆ 「こどもの居場所づくり」や「子ども食堂」を実施している団体に本を貸し出す「子どもへの読書活動支援事業」の実施《拡充》(年間18団体) ◆ 長期休暇等を活用した子どもの読書活動を支援する取組を研究 ◆ 児童サービスにかかる研修を実施
	(16) 子ども読書本のしおりコンテスト等の事業推進				
	(17) 子ども読書活動に関するワークショップ等の実施		◆ 「こどもの居場所づくり」や「子ども食堂」を実施している団体に本を貸し出す「子どもへの読書活動支援事業」を実施《11月～新規》(11団体、787冊貸出)		
	(18) 多様な講師を招聘した研修の実施				



## 平成29年度取組状況及び平成30年度事業計画について

項目	具 体 策	29年度事業計画 重点取組事項	平成29年度 取組状況 (H30.3末時点)	29年度 内部評価	平成30年度事業計画 重点取組事項
<b>II 多様な文化資源の情報を取り扱い、歴史と立地を活かしながら、幅広い調査研究のニーズに応えます</b>					
5 多様な資料の収集・整理・提供	(19) 収集方針にそった多様な形態の資料の積極的な収集		◆ 収集方針にそった資料の収集《継続》 ▷ 資料の収集(㉔ 11,010冊) ▷ 各施設との連携事業や図書館連続講座にあわせた資料の収集 ◆ 目録・検索機能の充実《継続》 ▷ 国立国会図書館、同志社大学、筑波大学、千葉大学、カーリル社との産官学プロジェクトの実施 ▷ 検索システムに連携している大学図書館を追加 ▷ 逐次刊行物の巻号情報の選及入力(㉔ 50誌 ㉔ 211誌) ◆ 開架スペースへの配架の工夫《継続》 ▷ 源氏物語コーナーの刷新 ▷ 小説の中の京都コーナーの充実	4	◆ 収集方針にそった資料の収集《継続》 ▷ 資料の収集 ▷ 各施設との連携事業や図書館連続講座にあわせた資料の収集 ◆ 目録・検索機能の充実《継続》 ▷ 国立国会図書館、同志社大学、筑波大学、千葉大学、カーリル社との産官学プロジェクトの実施 ▷ 検索システムに連携する大学図書館・国会図書館関西館を追加(大学図書館4館) ▷ 逐次刊行物の巻号情報の選及入力
	(20) 目録・検索機能の向上				
	(21) 限られた開架スペースへの配架の工夫				
6 十分な収蔵空間の確保による資料的確保	(22) 保存センターの役目を担う図書館としての収蔵量の確保		◆ 資料の適切な保存《継続》 ▷ 複本調査の実施と適切な廃棄	3	◆ 収蔵量の確保 ▷ 収蔵スペースの確保に向けた他施設の研究 ◆ 資料の適切な保存《継続》 ▷ 複本調査の実施と適切な廃棄
	(23) 資料の適切な保存と書庫環境の改善				
	(24) 府内1冊所蔵図書の的確な把握・移管				
7 資料館・博物館・大学等と連携した文化資源の情報発信	(25) 府立総合資料館との連携の強化		◆ 京都学・歴史館との連携《新規》 ▷ 職員研修として京都学・歴史館を視察(30名) ▷ 市町村立図書館等職員研修を京都学・歴史館で実施 ◆ 博物館等の関連施設との連携《拡充》 ◆ 大学等の連携の強化《充実》 ▷ 京都大学総合博物館と連携した企画展示 (「標本から見る京都大学動物学のはじまり」H29.6.23~9.27) ▷ 国立博物館で実施される企画展示と関連したミニコーナーの設置 (「国宝1200年」H29.11.1~11.29) ▷ 三重県立美術館での企画展示に資料を貸し出すとともに関連する企画展示を実施(「茶室とモダニズム」H30.1.5~3.21) ▷ 京都府立医科大学附属図書館での展示に資料を貸出 (「おいしい食事を」H30.1.17~1.31) ▷ 府内の大学等の研究者を招いて、図書館連続講座を実施(年間 6回) ◆ 近隣文化施設と連携《拡充》 ▷ 「京都岡崎魅力づくり推進協議会」主催の事業に積極的に参加 ○ 「岡崎プロムナード星の饗宴(京の七夕連携事業)」にあわせ、「音の図書館」を実施 ・ 府立北稜高等学校吹奏楽部による演奏 ・ 通崎睦美氏等による木琴とマリンバ演奏による館内コンサート ・ 演奏者にあわせ選書した蔵書を会場に展示 ○ 芸術イベント「OKAZAKI LOOPS」の館内コンサートに協力 ・ 演奏者にあわせ選書した蔵書を会場に展示 ○ 「岡崎ときあかり annex2017」で府立図書館賞の授与と風除室で受賞作品映像の展示 ▷ 国立近代美術館の企画展示にあわせたミニコーナーの設置 ○ 「バーナードリーチ生誕130年」(H29.3.24~6.21) ○ 「岡本神草の時代」(H29.11.17~12.10) ○ 「ゴッホ巡りゆく日本の夢」(H30.1.20~3.4) ▷ 国立近代美術館の視覚障害者向け解説文・解説図作成に協力 ▷ ロームシアターの催しにあわせたミニコーナーの設置 ○ 「歌舞伎と顔見世」(H29.12.1~12.27) ▷ ロームシアターの実施する「小澤征爾塾オペラプロジェクト」に協力 ▷ 細見美術館と連携した企画展示等の実施 ○ 企画展示「杉浦非水の装丁」(H29.5.4~6.21)及びワークショップを実施	5	◆ 京都学・歴史館との連携 ◆ 博物館等の関連施設との連携《拡充》 ◆ 大学等の連携の強化《拡充》 ▷ 京都大学総合博物館と連携した企画展示の実施 (「足もとに眠る京都〜考古学からみた鴨東の歴史〜」H30.3.23~)他 ▷ 有斐斎弘道館と連携した企画展示と図書館活用講座の実施《新規》 ▷ 京都府立医科大学附属図書館での展示に資料を貸出 ▷ 府内の大学等の研究者を招いて、図書館連続講座を実施(年間 8回) ◆ 近隣文化施設と連携《継続》 ▷ 「京都岡崎魅力づくり推進協議会」主催の事業に積極的に参加 ○ 「岡崎プロムナード星の饗宴(京の七夕連携事業)」にあわせ、「音の図書館」を実施 ・ 府立鳥羽高等学校吹奏楽部による演奏 ・ 内田奈織氏等によるハープとオーボエ演奏による館内コンサート ・ 演奏者にあわせ選書した蔵書を会場に展示 ○ 「岡崎ときあかり annex2018」で府立図書館賞の授与と風除室で受賞作品映像の展示 ○ 岡崎ハレ舞台に合わせて府立高等学校書道部による書道パフォーマンスを実施 ○ 芸術イベント「OKAZAKI LOOPS」の館内コンサートに協力 ・ 演奏者にあわせ選書した蔵書を会場に展示 他 ▷ 国立近代美術館の企画展示にあわせたミニコーナーの設置 ○ 「明治150年展 明治の日本画と工芸」(H30.3.20~5.20) 他
	(26) 博物館等の関連施設との連携の強化	○ 京都大学総合博物館企画展との連携 (パネル展示、関連図書展示、関連図書リスト配布、総合博物館への図書貸出等)			
	(27) 大学等との連携の強化				
	(28) 近隣文化施設との連携の強化	○ 「京都岡崎魅力づくり推進協議会」等の行う企画に積極的に参加(「京の七夕 岡崎プロムナード」「岡崎ときあかり」等) ○ 細見美術館をはじめ近隣の文化施設と連携した府立図書館内での展示や講演会・ワークショップの開催			
	(29) 府内各大学との相互貸借の促進(2再掲)	○ 大学と連携して相互貸借の利便性を高め、より効率的に資料を府内全域で共有<2大学図書館⇒7大学図書館に拡大>			
8 電子図書館サービス・デジタルアーカイブなどへの展開	(30) 国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の充実	○ 国立国会図書館デジタルコレクションの活用法の案内やワークショップの開催による図書館資料活用の促進	◆ 国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の充実《継続》 ▷ 図書館活用講座で国会図書館デジタルコレクションを活用したワークショップを実施 ◆ 利便性の高い各種データベースの提供《充実》 ▷ ディスカバリーサービスの実証実験を実施(H29.7.28~H30.1.24) ▷ 「シラベル×クラウドファンディング・ミーティング2017 3rd」を実施(H29.8.27) ▷ 日本政策金融公庫との共催で「クラウドファンディング活用セミナー」を実施(H29.10.1) ▷ 図書館活用講座で「データベース『日経テレコン』講座」等を実施 ◆ 価値ある資料のデジタルアーカイブ化《新規》 ▷ 同志社大学の「明治期から戦後期における日本観光資料群のデジタル化プロジェクト」に協力	3	◆ 国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」を活用した講座の実施 ◆ 利便性の高い各種データベースの提供《継続》 ▷ 様々な関係機関と連携したセミナー等の実施 ◆ 電子書籍(語学等)導入に向けた研究 ◆ 価値ある資料のデジタルアーカイブ化《継続》 ▷ 同志社大学の「明治期から戦後期における日本観光資料群のデジタル化プロジェクト」に協力
	(31) 利便性の高い各種データベースの提供の促進				
	(32) 電子書籍の動向を踏まえた導入				
	(33) 価値ある資料のデジタルアーカイブ化と発信	○ 府立大学等との連携により貴重書庫内の100年前の洋書群を調査し、府民の財産としてオープンデータ化を推進			



平成29年度取組状況及び平成30年度事業計画について

項目	具体策	29年度事業計画 重点取組事項	平成29年度 取組状況 (H30.3末時点)	29年度 内部評価	平成30年度事業計画 重点取組事項
9 所蔵資料紹介・レファレンス業務の充実	(34) 職員のレファレンス能力の向上	○国立国会図書館レファレンス協同データベースを活用 ○職員のレファレンス能力・資質向上のために登録数の増加と共有 <年間登録目標数:100件>	◆ 職員のレファレンス能力の向上《継続》 ◆ レファレンス協同データベースへの登録《継続》 ▷ レファレンスの対応件数(㊦ 16,723件) ▷ 国立国会図書館レファレンス協同データベースに事例を入力(㊦ 94件) ▷ 市町村立図書館等職員研修「レファレンス研修(初級・中級)」の講師を担当 ▷ 文部科学省主催の図書館地区別研修等に積極的に参加(5回・7名) ◆ レファレンスサービスの周知《継続》 ▷ 京都府教育委員会の広報ラジオに出演し、レファレンスサービスを紹介 ◆ 館内展示の充実《継続》 ▷ 1階・地階閲覧室・エントランスを活用した企画展示の実施(㊦ 13回) ▷ 「お茶の京都」、「杉浦非水の装丁」等 ▷ ホームページ上で所蔵図書・視聴覚資料の紹介(㊦ 31回) ▷ 月毎・時事・連続講座関連ミニコーナーの設置(㊦ 26回) ▷ 「ノーベル賞受賞カズオイングロ氏」等 ◆ テーマ別資料リスト、オープンデータの公開《継続》 ▷ 図書館連続講座、「OKAZAKI LOOPS」等様々な事業にあわせた資料リストの作成(㊦ 8回) ▷ 企画展示、ミニコーナーでの資料リストの作成(㊦ 26回) ▷ 京都データストアでのテーマ別資料リスト及び写真のオープンデータの公開	4	◆ 職員のレファレンス能力の向上《継続》 ◆ レファレンス協同データベースへの登録《継続》 ▷ レファレンス対応件数(15,000件以上) ▷ 国立国会図書館レファレンス協同データベースに事例を入力 ▷ 文部科学省主催の図書館地区別研修等に積極的に参加 ◆ レファレンスサービスの周知《継続》 ▷ 京都府教育委員会の広報ラジオに出演し、レファレンスサービスについて紹介 ◆ 館内展示の充実《継続》 ▷ 1階・地階閲覧室・エントランスを活用した企画展示の実施 ▷ 月毎・時事・連続講座関連等のミニコーナーの設置 ◆ テーマ別資料リスト、オープンデータの公開《継続》 ▷ 図書館連続講座にあわせた資料リストの作成 ▷ 企画展示、ミニコーナーでの資料リストの作成 ▷ 様々な事業にあわせた資料リストの作成 ▷ 京都データストアでのテーマ別資料リスト及び写真のオープンデータの公開
	(35) レファレンスサービスの周知と利用促進				
	(36) レファレンス協同データベースへの積極的な登録				
	(37) 多様な本や情報に出会える館内展示の展開				
	(38) テーマ別資料リストや調べ方案内の充実とオープンデータでの公開	○テーマ別資料リスト等の作成及びオープンデータでの公開			
10 来館者への貸出サービス等の充実	(39) 貸出・返却時の利便性改善	○京都市図書館との相互返却(府立図書館の本を京都市図書館に返却可、京都市図書館の本を府立図書館に返却可)を試行的に実施	◆ 貸出・返却時の利便性の改善《新規》 ◆ カウンターサービスの向上《新規》 ▷ 京都市図書館との本の相互返却試行開始(H29.11.10~)《新規》 (㊦ 府立→京都市572冊、京都市→府立1615冊) ▷ マイナンバーカードを図書館カードとして利用できる図書館共同利用システム実証事業に参加(H29.12.1~)《新規》 (㊦ 登録者8名)	4	◆ 貸出・返却時の利便性の改善《継続》 ◆ カウンターサービスの向上《継続》 ▷ 京都市図書館との本の相互返却本格実施 ▷ 市町村立図書館等との相互返却に向けて検討 ▷ マイナンバーカードを図書館カードとして利用できる図書館共同利用システム実証事業に参加
	(40) カウンターサービスのより一層の向上				
11 非来館サービスの充実	(41) 各種の非来館サービスの周知と利用促進	○京都府インターネット放送局「生涯学習講座」の中で、「図書館活用講座」の動画を公開し活用を促進	◆ 各種の非来館サービスの周知《継続》 ◆ ホームページの掲載《継続》 ▷ 京都府教育委員会の広報ラジオを活用したサービスの周知(㊦ 3回) ▷ 報道機関への積極的な広報資料の配付と丁寧な取材対応(㊦新聞掲載25回) ▷ 京都府インターネット放送局「生涯学習講座」に「図書館活用講座」等5本の動画を公開《新規》 ▷ ホームページのお知らせ欄を150回以上更新	3	◆ 各種の非来館サービスの周知《継続》 ▷ 京都府教育委員会の広報ラジオを活用したサービスの周知 ▷ 報道機関への積極的な広報資料の配付と丁寧な取材対応 ▷ 京都府インターネット放送局「生涯学習講座」に「図書館活用講座」等5本の動画を公開《継続》 ◆ ホームページの掲載《継続》 ▷ 各種講座等の取組のアーカイブをホームページに掲載
	(42) ホームページに掲載する情報の充実				
12 障害者サービス等の拡充	(43) 大活字本やデジター・マルチメディアデジター図書などの充実		◆ 大活字本、デジター・マルチメディアデジター図書の充実《継続》 (㊦ 大活字本 87冊、デジター・マルチメディアデジター図書 46点)	3	◆ 大活字本、デジター・マルチメディアデジター図書の充実《継続》 ◆ 障害者差別解消法に基づくガイドラインへの対応《継続》 ▷ 障害のため府立図書館に来館できない人のためのサービスについて検討(郵送サービス等) ▷ 「言語としての手話の普及を進めるとともに聞こえに障害のある人となない人が支え合う社会づくり条例」を踏まえた対応について検討
	(44) 障害者差別解消法に基づく各種ガイドラインへの適切な対応		◆ 障害者差別解消法に基づくガイドラインへの対応《継続》 ▷ 聴覚障害者への火災案内表示の作成 ▷ 国立近代美術館の視覚障害者向け解説文・解説図作成に協力		
	(45) 特別支援学校への資料や情報提供などの支援強化(14再掲)	○見えにくい方を対象とした「拡大読書器やルーペの使い方講座」や個別相談会を開催			
13 「歴史ある府立図書館」の演出	(46) 鳳凰図(集書院天井画)の活用促進		◆ 旧館家具・建設具材等の活用《継続》 ▷ 毎月第三水曜日に実施する館内見学会で活用(㊦ 11回のうち3回は参加者多数のため臨時班対応) ▷ 建築史を専門とする講師による図書館活用講座を実施し、建物のデザインや調度品について解説「武田五一と京都府立図書館」(H29.10.9)	2	◆ 旧館家具・建設具材等の活用《継続》 ▷ 館内見学会で活用(12回) ▷ 建築史を専門とする講師による図書館活用講座を実施し、建物のデザインや調度品について解説 ▷ 2階ナレッジベースにおいて1か月程度旧館家具・建設具材等を展示・公開 ▷ 鳥瞰図のパネル展示等の工夫
	(47) 旧館家具・建設具材等を活用した空間演出	○建築史を専門とする講師による府立図書館建物や調度品の解説などの講座を開催し、職員による定期開催の館内見学会に還元			
	(48) 府立総合資料館との連携による古典籍の複製等の展示				
	(49) 吉田初三郎鳥瞰図を活用した京都案内				
14 入りやすく利用しやすい空間の構成	(50) 来館者の目的に応じた資料や情報への的確な誘導		◆ 来館者への的確な誘導《継続》 ▷ 入口(風除室)及び前庭に案内パネルを設置(H29.3.28) ▷ 風除室・エントランスに必要な情報を展示 ▷ 京都府立図書館の概要のわかるパンフレットを作成(2,000部) ▷ 大学生ボランティアの協力によるコンシェルジュを試行的に実施(H30.3.6~3.18)	3	◆ 来館者への的確な誘導《継続》 ▷ 風除室・エントランスに必要な情報を展示 ▷ コンシェルジュを試行的に実施(年間2回)  ◆ 屋外空間の活用《継続》 ▷ 府立高等学校と連携した野外での取組を実施(年間2回)
	(51) 岡崎地区での立地を活かした屋外空間の活用		◆ 屋外空間の活用《継続》 ▷ 「音の図書館」で府立北稜高等学校吹奏楽部による野外演奏会を実施(H29.8.11)		



## 平成29年度取組状況及び平成30年度事業計画について

項目	具 体 策	29年度事業計画 重点取組事項	平成29年度 取組状況 (H30.3末時点)	29年度 内部評価	平成30年度事業計画 重点取組事項
15 職員の育成	(52) 研修・研究会等への積極的な参加		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 研修・研究会への参加《継続》</li> <li>▷ 文部科学省等主催の図書館地区別研修等へ参加(㉟5回 7名)</li> <li>▷ 市町村立図書館職員研修に講師を担当</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 研修・研究会への参加《継続》</li> <li>▷ 文部科学省等主催の図書館地区別研修等へ参加</li> <li>▷ 市町村立図書館職員研修に講師を担当</li> <li>▷ 市町村立図書館等の要請に応じた出前研修を試行的に実施(年間3回程度)</li> </ul>
	(53) 職員の自主研鑽の奨励や活動の紹介		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自主研鑽の奨励《継続》</li> <li>▷ 自主研究グループ「ししまろはん」への支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自主研鑽の奨励《継続》</li> <li>▷ 自主研究グループ「ししまろはん」への支援</li> </ul>
III 議論し発信する場を提供し、課題を解決する拠点となることにより、文化の創造と地域の活性化に寄与します					
16 「知的な交流の場」の創設	(54) 2階フロアの改修による議論しやすい「知的な交流の場」の設置		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「知的な交流の場」の設置《継続》</li> <li>◆ ファシリテーターとなる職員の育成《継続》</li> <li>◆ NPO等との連携による交流企画《継続》</li> <li>▷ 平成29年3月に壁面を改修し備品を充実</li> <li>▷ 2階の知的な交流の場を「ナレッジベース」と命名</li> <li>▷ 「ナレッジベース」での実験的な取組を開始(H29.10.5～)</li> <li>○ 「トークイベント」(H29.10.5)</li> <li>○ 「選ばれし書を語る」(H29.12.19)</li> <li>▷ NPO等と連携した知的な交流の場「ナレッジベース」を活用したイベントへの協力・参加</li> <li>○ 「時刻表から見る日本の近代化」(H29.10.7)</li> <li>○ 「初心者からベテランまで『時刻表』勉強会」(H30.1.21)</li> <li>○ 「Deathカフェ@京都府立図書館」(H30.1.27)</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ファシリテーターとなる職員の育成《継続》</li> <li>◆ NPO等との連携による交流企画《継続》</li> <li>▷ 知的な交流の場「ナレッジベース」での実験的な取組を実施</li> <li>▷ NPO等と連携した知的な交流の場「ナレッジベース」を活用したイベントへの協力・参加</li> </ul>
	(55) ファシリテーターとなる職員の育成				
	(56) フューチャーセンターや発表の場としての機能展開				
	(57) NPO等他の機関や団体との連携による交流企画の推進	○府民の地域力再生活動を支援する事業等を活用したNPOや大学、団体と連携した取組の実施			
17 府立図書館の見える化の推進	(58) 府立図書館のミッションの周知と事業の効果的な打ち出し		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 府立図書館のミッションの周知と事業の効果的な打ち出し《継続》</li> <li>▷ 京都府教育委員会の広報ラジオを活用したサービスの周知(㉟3回)</li> <li>▷ 報道機関への積極的な広報資料の配付と丁寧な取材対応(㉟新聞掲載 25回)</li> <li>▷ 京都府インターネット放送局「生涯学習講座」に「図書館活用講座」等5本の動画を公開《新規》</li> <li>▷ ホームページのお知らせ欄を106回更新</li> <li>▷ 図書館連続講座のポスターを近隣文化施設・京都市営地下鉄駅に掲示依頼</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 府立図書館のミッションの周知と事業の効果的な打ち出し《継続》</li> <li>▷ 京都府教育委員会の広報ラジオを活用したサービスの周知</li> <li>▷ 報道機関への積極的な広報資料の配付と丁寧な取材対応</li> <li>▷ 京都府インターネット放送局「生涯学習講座」に「図書館活用講座」等5本の動画を公開《継続》</li> <li>▷ 各種講座等の取組のアーカイブをホームページに掲載</li> <li>▷ 図書館連続講座のポスターを近隣文化施設・京都市営地下鉄駅に掲示依頼</li> <li>◆ SNS等を活用した広報について研究</li> </ul>
	(59) SNS等の多様な広報媒体の活用				
18 各種講座の実施と情報発信	(60) 書籍と情報をめぐる多様な講座の開催	○京都の研究者等を招き、図書資料等と連動させた図書館ならではの府民向け講座を定期的開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 多様な講座の開催《継続》</li> <li>◆ 各種講座の展開《継続》</li> <li>▷ 毎月第三水曜日に図書館活用講座を実施(㉟13回)</li> <li>▷ 企画展示「杉浦非水の装丁」(H29.5.4～6.21)と関連した図書館活用講座で、国会図書館デジタルコレクションを活用したワークショップを実施</li> <li>▷ 建築史を専門とする講師による図書館活用講座を実施し、建物のデザインや調度品について解説「武田五一と京都府立図書館」(H29.10.9)</li> <li>▷ 京都府内で活躍されている研究者の協力を得て図書館連続講座を実施(㉟6回)</li> <li>▷ 図書館連続講座及び一部活用講座では、講演内容に沿った図書資料を会場に展示するとともに関連図書リストを作成し配布</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 多様な講座の開催《拡充》</li> <li>◆ 各種講座の展開《拡充》</li> <li>▷ 図書館活用講座を毎月実施</li> <li>▷ 建築史を専門とする講師による図書館活用講座を実施し、建物のデザインや調度品について解説</li> <li>▷ 京都府内で活躍されている研究者の協力を得て図書館連続講座を実施(年間8回)</li> <li>▷ 図書館連続講座及び一部活用講座では、講演内容に沿った図書資料を会場に展示するとともに関連図書リストを作成し配布</li> <li>▷ 府の関係機関と協働した活用講座の実施</li> </ul>
	(61) 研究者・団体等と連携した各種講座の展開				
19 行政支援サービスの推進による府民への貢献	(62) 行政機関向けレファレンスサービス・複写サービスの実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 行政機関へのレファレンスサービス</li> <li>◆ 府庁への資料の配送</li> <li>▷ 議会図書館と資料の配送に向けた検討</li> <li>▷ 図書資料の配送を希望する課等へ試験的に実施(㉟2課3回・議会図書館4回)</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 行政機関へのレファレンスサービス・複写サービス《新規》</li> <li>◆ 府庁への資料の配送《新規》</li> <li>▷ 議会図書館を窓口とした本庁希望課室への図書資料の配送を実施(H30.4.3～)</li> <li>▷ 本庁各課室からのレファレンスへの対応を開始</li> </ul>
	(63) 府庁への資料配送の実施	○行政支援サービスとして京都府庁各課からの依頼に応じて図書の貸出を試行的に実施(連絡協力車で配送)			
20 サービスデザインチームによる新たな取組への挑戦	(64) 外部の力を活用したサービスデザインチームの設置	○サービスデザインチームが主体となり、大学生等の意見も活かしながら外部の機関等と連携した新たな取組に挑戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ サービスデザインチームによる挑戦《継続》</li> <li>▷ 2階の知的な交流の場を「ナレッジベース」と命名</li> <li>▷ 「ナレッジベース」での実験的な取組を開始(H29.10.5～)</li> <li>○ 「トークイベント」(H29.10.5)</li> <li>○ 「選ばれし書を語る」(H29.12.19)</li> <li>▷ NPO等と連携した知的な交流の場「ナレッジベース」を活用したイベントへの協力・参加</li> <li>○ 「時刻表から見る日本の近代化」(H29.10.7)</li> <li>○ 「初心者からベテランまで『時刻表』勉強会」(H30.1.21)</li> <li>○ 「Deathカフェ@京都府立図書館」(H30.1.27)</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ サービスデザインチームによる挑戦《継続》</li> <li>▷ 知的な交流の場「ナレッジベース」での実験的な取組の企画と当日の運営</li> <li>▷ NPO等と連携した知的な交流の場「ナレッジベース」を活用したイベントへの協力・参加</li> </ul>